

きるよう早期対応に努めている。

グループホームについては、今年度策定を予定している、平成27年度から平成29年度までの3カ年間の第6期鬼北町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中で、現在実施中の第5期計画の実施状況について検証を行い、「アンケートの集計分析」、「高齢者数の推計」等を総合的に勘案し、検討される事となる。

認知症に対する正しい理解の普及・啓発活動として、「認知症サポーター養成講座」を平成19年度から実施しており、現在町内で延べ1,123人の認知症サポーターが誕生している。また、認知症高齢者の介護をされている家族の支援として、認知症介護者のつどいや介護者交流事業等を通して、同じ悩みを持つた家族同士の情報交換や、介護者の心身のリフレッシュを目的に日帰りの親睦研修等を実施している。

さらに、平成25年度に愛治地区をモデル地区として取り組んだ「認知症高齢者を地域で見守るネットワーク事業」のように、地域での見守り活動を進めているほか、徘徊の恐れのある高齢者のネットワーク登録、見守りステッカーの活用、高齢者見守りキーホルダーの作成等を実施している。

問 防災について
問 道路における防災対策事業について

答

平成9年に道路防災総点検を行った箇所の内、対策が必要と判断されたものについては、重要度の高いものから順次対策工事を行っている。

町道大飼線など町道や県道の被災の多くは、土砂の流入によるもので

あり、これらの箇所については、被災後、現場を直ちに調査し、県道に

ついては県が年間維持管理を委託している業者に、町道については直営

班で、それぞれ緊急に崩土を取り除き通行の確保を図ったが、一部大規模な被災箇所については、現在県営の

治山事業で対応できなか検討をお願いしているところである。

また、裏山の崩壊から住宅を守るために実施しているがけ崩れ防災対策事業を、県補助事業により年間4件程度実施しているほか、急傾斜地崩壊対策等の大規模な工事については

県営事業として取り組んでいるところである。

問 木造住宅耐震改修事業の進捗状況について

答 平成25年度は、三島地区で出前講座を行い、小松町部においては戸別訪問を実施した。その結果、2件の耐震診断の申込みがあつたところである。

今年度は、日吉地区と泉地区で出前講座を行い、昨年度に引き続き小松町部において、昨年、未実施の地域を対象に戸別訪問を実施した。戸別訪問については、県の戸別訪問実

施要領に従い、訪問戸数50戸を目標に、「自主防災組織が結成されている」、「出前講座を実施している」、「建物が密集している」などの観点から小松町部を選定した。

今年度は、問合せ等はあるが現在のところ耐震事業への申込みはない。

問 全国学力テスト結果発表を受けて、どのように感じているか。また、学校の環境整備について

答 鬼北町では、本年度「教育力向上推進委員会」を立ち上げ、全学校に学力向上推進主任を配置し、学力向上プランの策定、学力調査の結果分析、保護者への理解を得るためのリーフレットの作成などに取り組んでいる。

また、教師自らの資質向上を目指して、有識者を招いての研修や、学力向上における先進地視察も計画している。

さらに、学力調査においては、学校間における各分野での詳細なデータを分析し、かつ、自己肯定感や尊感情、家庭学習の現状調査も踏まえ、多方面から各学校における、より良い学習方法の検討を行っている。このような取り組みと、ICT（情報通信技術）関連経費を合わせて、本年度当初予算において300万円を計上し、事業を推進している。ICTにおいては、すでに全小・

中学校がデスクトップ型パソコンを導入している他、電子黒板、タブレット端末機器を試験的に導入している。

タブレット端末は、今日の日常社会において活用されている状況に鑑み、なるべく早く一人一台のタブレット端末の整備を目指したいと考えている。

全国学力テストの結果については、個人単位、学校単位、また自治体単位でしっかりと検証し、反省するべき点は反省し、鬼北の子どもたちをより良い方向に導いていくよう努めしていく。

問 男女共同参画社会について
問 鬼北町役場内で、ポジティブ・アクションに取り組んでいるか。

答 現在の女性管理職の状況について、課長職では14人中3人が女性職員となつており、17人の課長補佐職については残念ながら0人となつていている。課長補佐職の人数が0人となつてているのは、現時点における職員の年齢構成上やむを得ない状況であると判断している。

本町においては、職員の労働条件は性別にかかわりなく同一であり、登用にあたつては、経験年数・年齢を加味した能力主義をとつており、ポジティブ・アクションの対象となる環境であるとは認識していない。従つて女性職員の登用等にあたり、特別な機会や条件等は設定していない。